



議会だより 第120号

群馬県昭和村議会

令和7年10月15日 9月定例会



Contents

- 2～5 9月定例会
- 6～7 各常任委員会
- 8～9 全協・トピックス
- 10～16 村の姿勢を問う
- 17 あの問題は今

第36回昭和中秋季大運動会「八木節」

確認

令和6年度 決算審査特別委員会開催

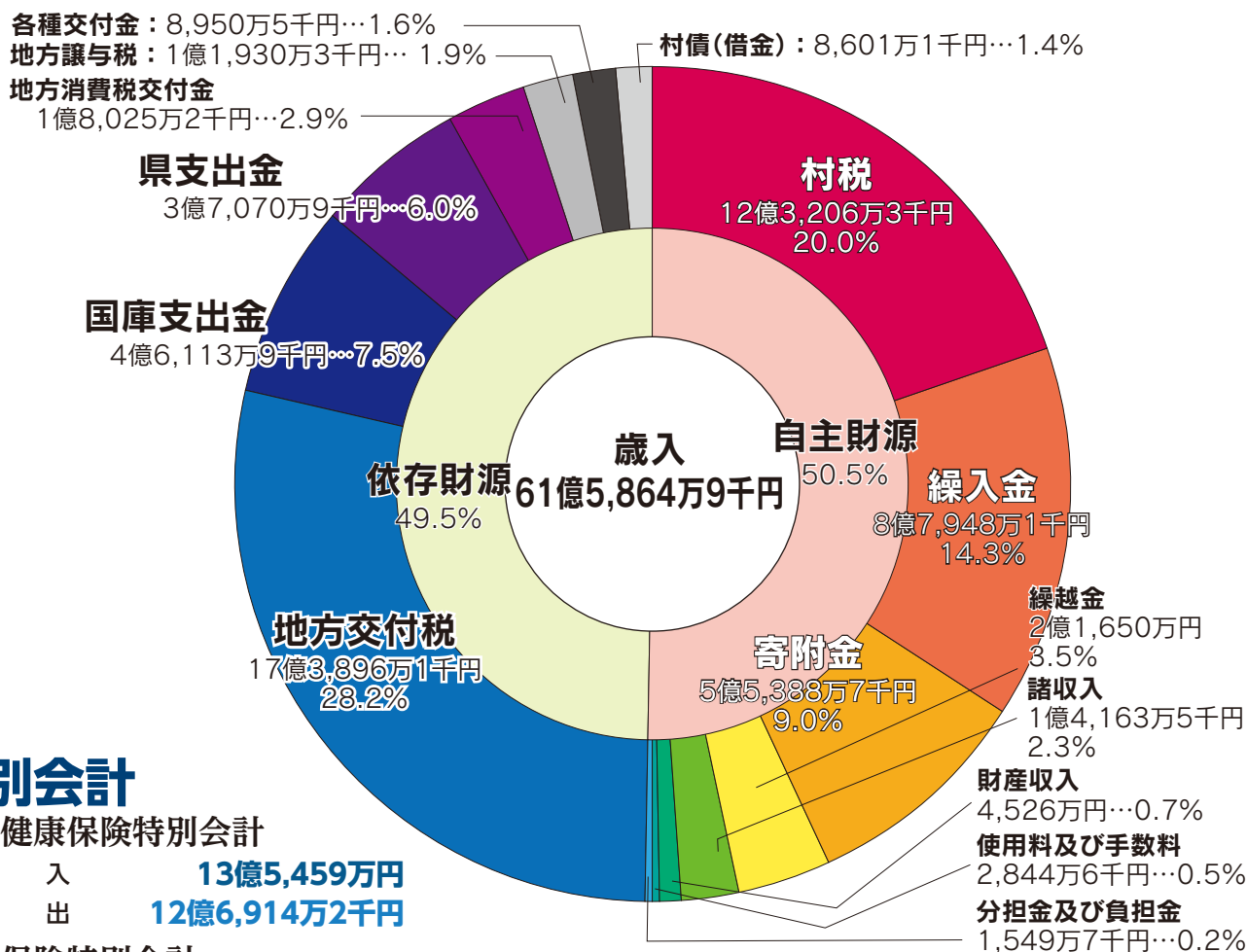
9月9日、10日、11日、17日の4日間で審査・質疑・採択を行いました。

一般会計

61億5,864万9千円

(前年度比4.7%減)

歳入



特別会計

国民健康保険特別会計

歳入 13億5,459万円
歳出 12億6,914万2千円

介護保険特別会計

歳入 8億3,302万3千円
歳出 7億8,481万9千円

後期高齢者医療特別会計

歳入 1億1,243万8千円
歳出 1億987万9千円

事業会計

簡易水道事業会計

事業収益 1億7,464万7千円
事業費用 1億4,455万6千円

下水道事業会計

事業収益 2億8,688万6千円
事業費用 2億4,313万7千円

財政運営の状況

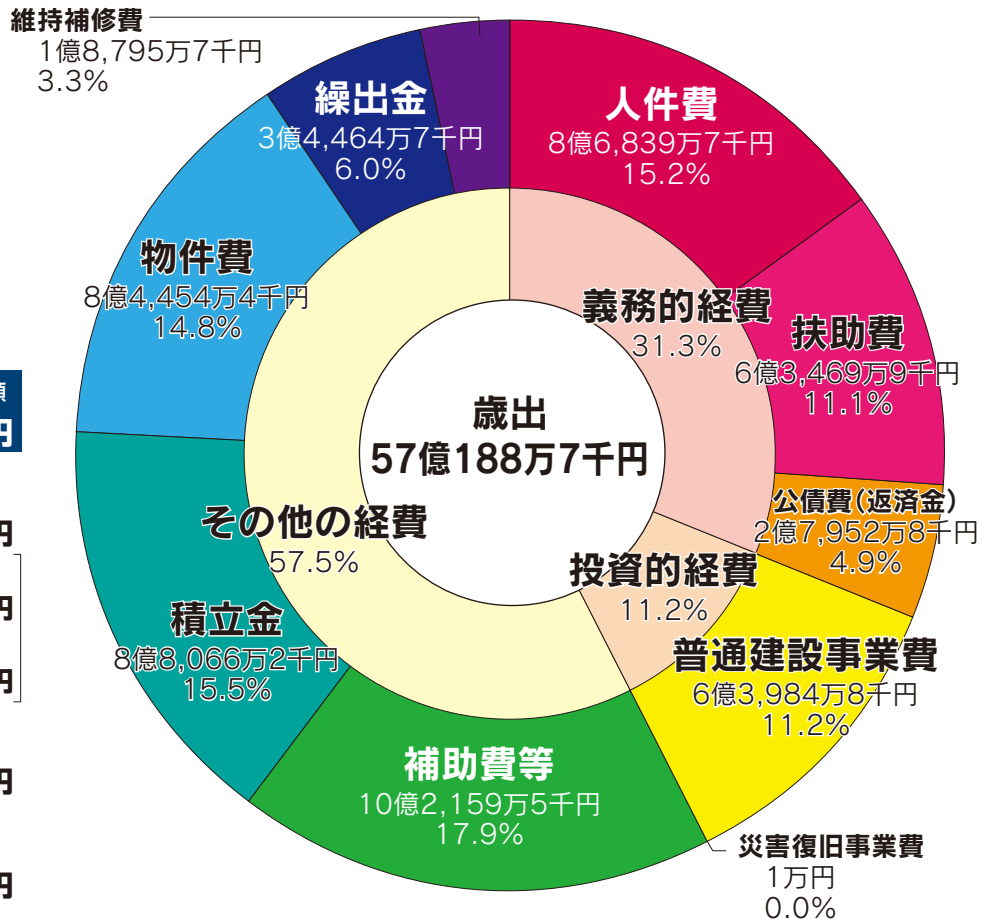
	4年度	5年度	6年度
財政力指数 地方公共団体の財政力の強弱を示す指数。1に近い(あるいは1を超える)ほど財政に余裕があるとされる。	0.430	0.430	0.440
経常収支比率 経常的な一般財源がどの程度経常的な経費に充てられているかを示す指数。数値が高いほど財政が硬直化し、70%~80%の範囲が望ましいとされている。	82.5%	85.4%	84.5%
公債費比率 一般財源の標準的な規模に占める公債費の比率。公債費は義務的経費であり、10%を超えないことが望ましいとされている。	1.7%	2.0%	2.7%
実質公債費比率 一般財源の標準的な規模に占める公債費のほか、公営企業会計や一部事務組合が負担する公債費、債務負担行為などを加味した比率。	4.7%	4.8%	4.8%

健全な行財政運営を

歳出

一般会計

57億188万7千円
(前年度比4.8%減)



一般会計 歳入・歳出差引残額
4億5,676万2千円

- ・うち基金繰入金
2億2,236万円
- 財政調整基金へ
2億374万2千円
- 学校校舎建築基金へ
1,861万8千円
- ・繰越明許費繰越額
8,440万2千円
- ・翌年度への繰越額
1億5,000万円

監査委員による決算審査が行われる

8月5日、6日、8日

審査結果の統括的意見

代表監査委員 萩原 正樹氏
監査委員 片柳 悦夫氏

令和6年度昭和村一般会計及び特別会計並びに事業会計の決算書及び付属書類は、どれも法令に準拠し、決算係数も関係書類と正確に符合し、決算内容も適正と認められた。また予算執行状況についても、適正であると認められた。

令和6年度の事務事業では、税金滞納の増加・ふるさと納税の減少などの課題はありますが、どの事業も柔軟で適切な対応ができていたことを確認し、行財政運営は概ね健全であると判断をした。

今後の財政運営は、複数の公共施設の新設・改修等の大型事業が動き出し厳しい局面が予想されるが、最適配置・住民の利便性向上・費用対効果を考慮し、長期財政見通しを活用し、総合的な検討をお願いしたい。「ともにつくるろくろ輝く昭和村」をスローガンにした第6次総合計画が本年度スタート。住民主体で、行政と協働した村づくりを遂行し、いつまでも輝き続ける昭和村が実現されることを期待する。



3日間にわたり行われた決算審査

9月定例会

今定例会は、9月8日から19日までの12日間の会期で開催。議案9件、認定6件、報告3件の計18件が提出され審議しました。いずれも原案のとおり可決。また、7人の議員が一般質問をし、村の姿勢を問いました。

補正予算

一般会計補正予算(第2号)

1億4,396万円増額。
総額

52億7,991万3千円

令和6年度昭和村物価高騰対策給付金支給事業の実施、緑の大地ふるさと昭和特産品返礼事業、子ども・子育て支援事業など。

国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

120万2千円増額

総額

12億3,073万4千円

会計年度任用職員の共済費の改定。「子ども・子育て支援金制度」のシステム改修費用。

介護保険特別会計補正予算(第1号)

843万8千円増額

総額

8億975万2千円

高額介護予防サービス費、前年度支払基金交付金の精算に伴う返還金など。

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

46万8千円増額
総額

1億2,210万2千円

後期高齢者医療保険料の過誤納付金を被保険者へ還付など。

簡易水道事業会計補正予算(第1号)

571万5千円増額

収益的収入

1億7,174万1千円

収益的支出

1億7,093万2千円

人件費及び委託料の追加など。

下水道事業会計補正予算(第1号)

100万円増額
収益的収入

2億6,827万6千円

収益的支出

2億6,618万1千円

修繕費用など。

決算認定

令和6年度昭和村各会計の歳入・歳出決算を認定。詳しくは2ページから3ページで説明。

条例改正

昭和村道の駅条例の一部を改正する条例

農産物直売所「旬菜館」の施設使用料の変更。

農産物・加工品等は13%を15%へ、冷蔵施設利用農産物・加工品は18%を20%へとする。

報告

令和6年度一般会計継続費精算報告書

スーパ誘致事業で建物の改修等を行った工事についての報告。

令和6年度昭和村健全化判断比率等の報告

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率が早期健全。

全化基準を大きく下回っている。

株式会社あぐりーむ昭和の経営状況報告

令和6年度の事業報告書、貸借対照表、損益計算書、経営計画書。

令和7年度の予定貸借対照表、予定損益計算書を報告。

締結

昭和村体育施設照明LED改修工事契約の締結

総合運動公園の野球場、多目的グラウンド、屋内運動場、昭和中学校グラウンド、テニスコートの照明をLEDに改修。

昭和村立小中学校GIGAスクール構想情報機器購入契約の締結

令和2年度に導入した小中学校の端末が5年を経過することから、機器の入れ替えを行う。

事業者の選定を群馬県に委任。



① タブレット端末を活用したGIGAスクールの様子
② 道の駅あぐりーむ昭和
③ 販わう農産物直売所「旬菜館」

提出された議案等と賛否一覧		堤宏康	佐藤好美	林栄一	倉沢つかさ	林勝美	阿部孝司	片柳悦夫	藤井貞充	林幸司	加藤生	沢浦典子	永井一行
※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。													
第3回定例会（令和7年9月8日～19日）													
議案33号	昭和村道の駅条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
議案34号	昭和村体育施設照明LED改修工事契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案35号	昭和村立小中学校GIGAスクール構想情報機器購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案36号	令和7年度昭和村一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
議案37号	令和7年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
議案38号	令和7年度昭和村介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
議案39号	令和7年度昭和村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
議案40号	令和7年度昭和村簡易水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
議案41号	令和7年度昭和村下水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
認定1号	令和6年度昭和村一般会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	—
認定2号	令和6年度昭和村国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
認定3号	令和6年度昭和村介護保険特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
認定4号	令和6年度昭和村後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
認定5号	令和6年度昭和村簡易水道事業剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
認定6号	令和6年度昭和村下水道事業剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
報告3号	令和6年度昭和村一般会計継続費精算報告書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告4号	令和6年度昭和村健全化判断比率等の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告5号	株式会社あぐりーむ昭和の経営状況報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

みなさんからの請願・陳情

自 令和7年5月23日 至 令和7年8月26日

※9月定例会において、みなさまからの請願・陳情等の提出はありませんでした。

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

所管事務調査 南牧村「なんもくふれあいテレビ」視察

9月16日に総務民生常任委員会を開催し、所管事務について調査しました。

問 来年度の予算編成はいつごろからか

答 総務課

12月中に各課からある程度の案を上げる。1月中旬に総務課財政係でヒアリングを行う。最終的に村長と調整をして、予算編成をしている。

問 敬老祝いの金の支給について、区切りをつけての支給も考えてみては

答 健康福祉課

今年度、該当者713人で1,052万4千円になる。うち100歳の方へ20万円ずつ支給。

問 子育ての安心のためにも、出生祝い金を増やしては

答 総務課

子育てに関して、出生祝い金、入学祝金、その他、保育料、給食費を無償にしている。

問 小児生活習慣病の予防事業で指導対象となった子どもについて

答 健康福祉課

予防事業で指導対象となった子どもの保護者に、保健師と栄養士で個別に面談をして改善に向けた指導をしている。

問 第2保育園について、保育園児の減少に伴い保育に支障を来すのでは

答 健康福祉課

遠足、体育教室などの行事は第一保育園と合同で実施。保育士の手が入る部分は良いことであるが、友達同士と競い合う力が薄れてきて、小学校行ったら大勢

の集団になった時に心が折れてしまわないか心配している。

視察研修

群馬県南牧村

農村多元情報システム施設「なんもくふれあいテレビ」を視察

南牧村は地形的な制約から多くの一般家庭で地上波放送やラジオ電波を受信できない「難視聴地域」である。「なんもくふれあいテレビ」は、村全域に係わる地域課題解消のため平成8年に「農村情報施設」のケーブルテレビ局として開局。

現在はケーブルテレビのほか、村公式SNSで、村内外に向けて積極的に情報発信しており、SNS活用効果によって、3名の地域おこし協力隊員の確保へ繋がったのではと推測できる。

また、各世帯に配線された光ケーブルによって、ケーブルテレビの字幕放送のほか告知放送器による村からのお知らせや緊急放送

と情報伝達手段も整備されており、防災の観点からも重要な役割を担っている。さらには、開局当初から、身近な出来事取材し、自主放送を行ってきたのと、30年に及ぶ村の日常が膨大な量の記録映像資料として局内に整理されており、村づくりの一翼を担っていることが伝わった。村づくりにおいて既存のものを時代に合わせて常に新しく「新化」させていく。そういった柔軟性も大切であることを教えられた研修であった。



テレビ局の編集室

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水などに関する事項を所管

所管事務調査 「群馬県埋蔵文化財調査事業団」視察

9月12日に文教産建常任委員会を開催し、所管事務について調査しました。

問

国・県補助事業復旧治山事業と予防治山事業について、できる限り多くの整備を

答

産業課

毎年市町村から整備依頼箇所を県に要望している。前年度から引き続きいる場所や、新規要望箇所について、県等で施工箇所を決め整備している。



追分地内(治山事業)

問

鳥獣害対策(特に熊)と緊急銃猟マニユアルの早期作成・訓練について

答

産業課

今年熊5頭(内3頭子熊)を捕獲。獣害によるフェンスの破損等について、巡回等をし対策を考える。児童生徒には、熊対策の鈴をつけるようお願いした。

また、マニフェストを作成している自治体を参考に危険のないよう訓練等の実施を検討。



問

高校生に通学費の補助を

答

教育委員会

近隣の自治体では通学費の補助を実施。

今後、村子育て支援プロジェクトチームで検討したい。

視察研修

公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

事業団は、公共開発事業に伴う埋蔵文化財の調査と研究を行うとともに、県埋蔵文化財調査センター併設の発掘情報館を核として、生涯学習や学校教育と連携した公開事業を通じ、文化財保護思想の普及を図り、県民文化の振興に寄与している。現在県内では、上信自動車道等9カ所の発掘調査を実施している。

昭和村の関係では、令和2年から5年まで発掘調査をした森下地内の昭和インター線にかかる整備作業報告書を作成中とのこと。

収蔵展示室には、村内で出土した糸井宮前遺跡の土器数点が修復され、常設展示されている。村の歴史的な遺産が保管されており、改めて古代の暮らしの様子を探る機会となった。

資料展示室には、発掘でわかる自然災害の様子として、「金井遺跡群」があり、6世紀初め頃の榛名山の噴

火による火砕流堆積物等で覆われた古墳時代の様子と、被災の状況や被災した人々の行動の痕跡まで明らかにする貴重な遺跡であることの説明を受けた。

災害遺跡の調査成果から、遺跡群が語りかけてくることに耳を傾け、災害はどこでも起き、今を生きる私たちが災害を理解し、災害に備える未来のために今を考えるきっかけとしたい。



金井遺跡群



糸井宮前遺跡

全員協議会

7月・8月・9月に開催した全員協議会での協議内容
は以下のとおりです。

7月28日

第3回昭和村統合小中学校推進協議会の報告

4月7日に川場学園を視察した報告と概要説明を受け協議する。

昭和村公民館の施設改修費用について

劣化状況・現地調査等の報告を受け協議する。

昭和村福祉センターの施設改修費用について

改修費用が約3億円と概要説明を受け協議する。

戸籍の氏名のフリガナ記載について

5月に改正戸籍法が施行され、戸籍の記載事項に指名のフリガナが追加されるとの説明を受ける。

関屋工業団地におけるスマートエネルギーネットワークについて

関屋工業団地内に新たにスマートエネルギーネットワークを構築することについて説明を受け協議する。

日本子育て支援大賞2025年受賞について

昭和村が子育て支援大賞（自治体部門）で受賞したとの報告を受ける。

8月29日

昭和村立小中学校GIGAスクール構想情報機器購入について

令和3年に導入した端末が5年目を迎えるため、県が公募型プロポーザルで共同調達した端末を購入することについて説明を受け協議する。

J A利根沼田集荷所予定地について

久呂保・糸之瀬・赤城根予冷庫の老朽化に伴い、望郷ライン沿いに新たな集約化した施設の設置が検討されており、説明を受け協議する。

昭和の森山荘の既存建物および土地の購入希望の募集について

昭和の森山荘の販売について、募集方法等の説明を受け協議する。



第4回・第5回昭和村統合小中学校推進協議会の報告

協議内容と保護者説明会の実施について報告を受け協議する。

緊急銃猟制度について

農地や河川敷、建物内など住民の日常生活圏に危険鳥獣が出没した場合、安全を確認した上で、市町村の判断で緊急的に銃猟を許可する制度の説明を受け協議する。

9月17日 部活動の地域展開について

令和8年度から10年度までに実施をする部活動の地域展開について現状と今後の方針について説明を受け協議する。

利根沼田新ごみ処理施設整備について

新ごみ処理施設整備基本計画や概算事業費、今後の推進について説明を受け協議する。

利根郡町村会自治功労者表彰

7月30日、利根郡町村会において自治功労者の表彰が行われました。

本村議会では、議会議員10年以上在職者として永井一行議長、藤井貞充議員が受賞しました。



視 察・調 査・トピックス

戦没者追悼式

8月20日、戦後80年という節目、村では10年ぶりに挙行了しました。



花いっぱい運動と下草刈り

7月11日、村づくり協力委員とで望郷ライン沿いにサルビアとマリーゴールドの植栽を行い、終了後は農業委員会と村有林の下草刈りを行いました。



利根郡町村議会議員・議会事務局長研修会

8月25日、昭和村公民館で開催されました。

研修内容

(1)災害と議会・議員の役割
講師・同志社大学名誉教授

新川達郎氏

(2)議会運営・役場を動かす一般質問の仕方
講師・町村議会議長会課長補佐

菊池 亮氏

玉村町交流会

7月12日、友好交流協定を結んでいる玉村町から第35回玉村花火大会に招かれ、議員と村づくり協力委員の皆さんで田んぼの中で打ちあげられる花火を鑑賞するとともに、玉村町議会と友好を深めました。



清原工業団地視察

8月21日、宇都宮市の清原工業団地を視察。工場間一体型省エネルギー事業（スマートエネルギーネットワーク）はエネルギーの合理化、安定供給の向上による競争力強化、そして、SDGsの実現等の説明を聞き、工業団地だけではなく、地元の市町村においても付加価値をもたらす事業だと勉強してきました。





林 勝美 議員

昭和村の田園風景を守るための方策は

村長 国の方針転換を注視し、インフラ整備を進める

問 昭和村の稲作の実態をどの様に把握しているのか。

答 村長

11・4畝で栽培されていて、自家消費や縁故米として栽培されている。

問 耕作放棄地が増える事を、どのように受け止めているのか。

答 村長

放棄地が増えることに関しては喫緊の課題です。

問 景観保全や獣害対策として、稲作を維持していく方策は。

答 村長

水田政策の見直しを注視し、継続していけるよう対応してまいります。

外国人実習生との共生について

問 昭和村に在住する外国人実習生の人数や国籍、就労分野の現状を把握しているのか。

答 村長

インドネシア人333人、ベトナム人119人、タイ人75人です。

問 日本語教育や医療・住宅といった生活支援の対応は。

答 村長

日本語教室の開催準備中。医療は国保や社保、住宅は受け入れ先が用意している。

問 村民との交流や地域行事への参加を、多文化共生を進める考えは。

答 村長

夏祭りや道路愛護、村の美化運動にも参加。実習生が地域に溶け込めるよう、昭和村に定住して頂けるよう進めていく。

生成AI（人工知能）による文章や画像の自動生成について

問 役場や学校において、生成AIを実際に利用しているのか。

答 教育長

教職員公務の文書作成での業務軽減。

答 村長・教育長
利用はしていない。

問 ガイドライン作成や職員研修を行う予定はあるのか。

答 村長

来年度の導入に向け情報収集を行っている。

答 村長
協議の場があれば加わりたい。

問 近隣や県と連携して、活用方法を検討する考えは。

答 教育長

必要性に応じて、進んで参加していく。

答 村長
文字おこしや議事録作成、企画書の作成。

答 教育長



林 栄一
議員

路線バスとデマンドバス運行の現状と課題は

村長 利用状況に応じ公共交通システムの再構築を考えたい

問 路線バス利用が極端に減少している中、村内における公共交通システムの見直しを考えていますか。

答 村長

今年度、昭和中学校のスクールバスを導入したことで、路線バス利用者が減少。利用状況に応じ公共交通システムの再構

築の必要があると考えています。

答 企画課長

導入前の令和7年2月17日から10日間実施した3路線の乗降調査の1日平均は、朝24・4人、夕方8・5人でした。4月から単純に中学生の路線バス利用者を除いた結果は、朝4・9人、夕方は

僅かに1・3人です。今月、高校生と一般を分けて再度乗降調査を実施する予定で、結果を見て協議いただきながら進めていきたい。

答 村長

今年4月から現在までの路線バス及びデマンドバスの利用者数と、今後予定している路線バスの乗降調査の結果をもとに、どのような運行方法が適切であるか関係機関と協議し対応を考えたい。

危険を伴う道路側溝の路肩に積雪ポールの設置を

村長 積雪ポールよりも溝蓋の計画的な設置を進めたい

問 村内には、深い道路側溝があるが、溝蓋が設置をされていない現状をどうとらえていますか。

村内には、深い道路側溝があるが、溝蓋が設置をされていない現状をどうとらえていますか。

であれば、当面の措置として冬季間に積雪ポールを設置して欲しい。

答 建設課長

現地の状況を見ながら、設置できるかどうかを精査し、出来る所であれば検討します。

答 村長

豪雨の際、側溝詰まりの原因となることで、設置していない場所もあります。莫大な費用が設置にかかることで、必要な箇所を選定し、設置をし

問

大雪で車が道路側溝に落ちる惨状や、通学途中に道路側溝に落下した話も聞きました。積雪時の吹き溜まりやカーブは、雪が降ると道路幅が確認できません。側溝蓋がかけられないの

答 村長

除雪路線を受託する業者の判断で、積雪ポールを設置をお願いしますが、豪雪地帯でなく、除雪の際



国道17号綾戸バイパス建設 進捗状況と昭和村通過の推進を

村長 国等へ、昭和村に国道が
通過するよう働きかける

佐藤 好美
議員



問

綾戸バイパス建設
迅速化へ向けて、
渋川市、沼田市、昭和村
が加盟し、期成同盟会が
設立されています。

急峻な土地を回避す
る、国道17号バイパス整
備にあたり、今後昭和村
を通過した計画を推し進
めることが同盟会に加盟
している意義と役割を果
たすこととなります。

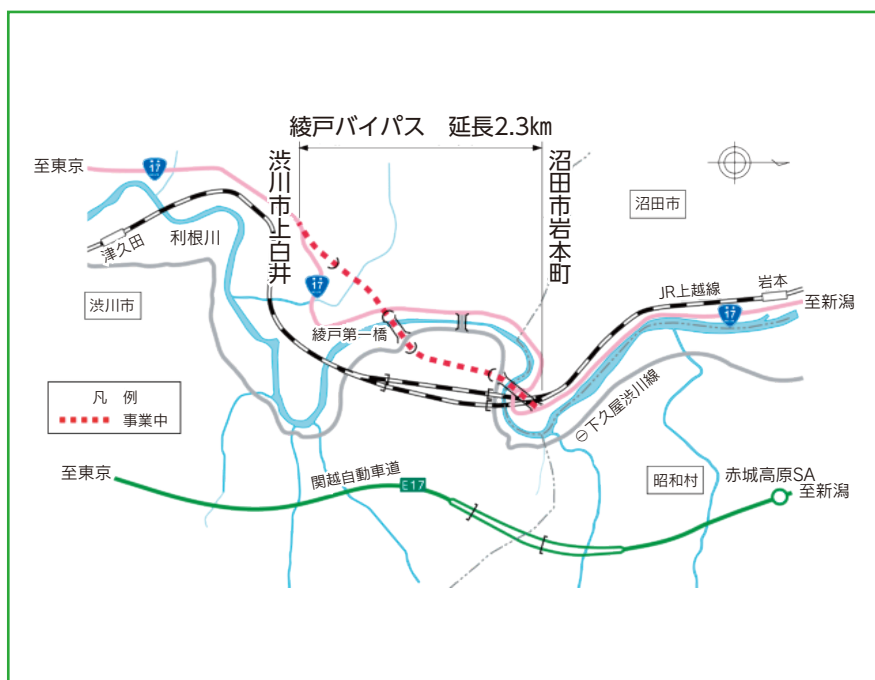
事業の目的は、災害に
強い道路整備、関越自動
車道路の交通規制時代替
えとしての機能を果たし
ます。今後、新潟に向か
う国道整備計画におい
て、本村を通過するよう
、特に次世代のことも考慮
し積極的に進めてくださ
い。

答
村長

昭和村通過について、
平成16年に「一般国道17
号線綾戸バイパス路線延
長に関する陳情書」おい
てJRの棚下トンネル付
近から群馬用水取水場付
近を渡り、一部本村を通

過して岩本駅付近へ繋げ
る計画を国会議員に提
出。

事業化されている箇所
の早期完成を求めつつ、
渋川市・沼田市と連携強
化を図り、現計画から先
のルートについて提案
し、昭和村に国道が通過
する計画も働きかけてい
きます。



村長 事業見直し時の参考にする

おむつ代等日常生活用品の助成金の
3歳児未満まで拡充を

問

「どこよりも子育て
しやすい村づく
り」(村長公約)のため
に、さらにステップアッ
プした施策を望みます。
子育て支援助成事業の、

「2歳未満(1歳児)」の乳
児を持つ保護者を対象と
した「おむつ代等日常生
活用品の購入助成金」を
「3歳未満(2歳児)」への
拡充を求めます。

トイレトレーニング
は、現実には3歳頃から
始まります。

子育て世代は、ミルク、
おむつ、チャイルドシー
ト、ベビーカー等育児用
品に多額の出費がかかり
ます。

村で重要視する少子化
対策の一環として、子育
て中の保護者の経済的負
担を軽減する支援を強く
願います。

答
村長

現在の子育て支援事業
を継続し、事業の効果や
財政的な影響などを慎重
に見極めて事業見直しの
参考にします。



阿部 孝司
議員

有害鳥獣の増加に対する対策と人材の確保を

村長 猟友会と協力し新たな人材発掘・確保、情報通信技術を活用して効率化や負担軽減も検討

問

今年は熊の被害や出没が多く、昭和村でも目撃情報が増加しています。猟友会の高齢化が進み若い人材の確保は深刻な問題です。これからどのような対策を考えているのかお聞かせください。

答
村長

熊等の有害鳥獣対応は、猟友会にお願いしておりますが、広報等を通じて猟友会活動を周知し、新たな人材発掘、確保に努めたいと思います。

問

利根沼田の状況もお聞かせください。

答
村長

他市町村においても、高齢化や有害鳥獣駆除従事者の確保に苦慮しており、昭和村と同じような状況とのこと。

問

高齢化問題の解決には若い人材の確保

答
村長

職員の取得については本業に支障が出てしまうので、現時点ではその段階ではないと考えています。ただし、猟友会をサポートする専従の猟師を置くという方法は考えられます。

これからの昭和村の農業について

村長 若い後継者が安心して安定した農業経営ができるよう調査・研究をしていく

問

農業立村として、大規模経営が行われ発展してきました。赤城西麓土地改良事業で畑かんが完成し、水の利用が出来るようになったことでハウス栽培も盛んになりました。

答
村長

近年の異常気象が続くようであれば、近い将来、作付野菜の変更や新たな栽培方法の導入など大変革が必要であり、水耕栽培も選択肢の一つであると思います。

答
村長

若い後継者が安心して就農し、安定した農業経営ができるよう、水耕栽培をはじめとする最先端の農業について、調査・研究をしてまいります。

問

最低賃金が1,063円に大幅に上昇になるので、ますます経営が厳しくなると見込まれる。ぜひとも昭和村の若い人たちが夢を持つて農業ができるような政策をしていただきたいと思っています。

進みたいと考えています。

「入りを量り出ずるを制す」人口減少に伴う行政サービスの今後について

村長 人口減少を抑え、住みやすい・住み続けたい村づくりが不可欠時代の変化に対応した事業の見直しと展開を

加藤
生
議員



問

少子高齢化が進行し、現状のままでは将来的に生産年齢人口が減少し、村の現在の姿を維持することが困難な時代を迎えると考えられる。10年後の村の人口の推移はどのように変化していくと考えられるか。

答

総務課長

令和7年度の人口を6,633人とし、10年後は6,002人と見込んでいる。生産年齢人口の減少は地場産業の減退や村の税収への影響も大きく、少子化に拍車をかける要因となる。高齢化が進むことによって、村の収入が減少し、社会保障費の増加となり、他の施策にも影響が予想され、インフラや公共施設の老朽化の更新費用などが加われば、現在の事業を現状のまま継続していくことが困難な状況に陥る可能性がある。このような状況を回避するためにも、各種事業

問

の見直し、公共施設のあり方の検討は必須の事項であると考ええる。

答

建設課長

請願・陳情による要望箇所や1・2級村道を中心に将来を見据えた「道路舗装維持修繕計画」に基づいて整備をしている。道路状況を確認しながら、付帯する排水路も含めた整備計画の策定を進める。各行政区に春と秋において、高齡化による人手不足などで作業に支障をきたしている地域もあると聞いている。村民の皆様の善意によるものであると思いますので、地域の実情に合わせて安全第一で実施していただくようお願いいたします。

問

税収の増加の見込みはあるのか。

答

税務会計課長

人口推計のみで考えると個人住民税は今後減少の一途をたどる見込み。固定資産税も企業による増設や新たな企業の進出があれば税収の増加は見込めるが、今現在では大幅な税収増は見込めない。



問

人口減少を極力抑え、村が長く続くためにどのような行政運営、施策をお考えか。

答

村長

人口減少は経済的、社会的な課題を深刻化させる要因であると認識している。

村が長く続くためには、生産年齢人口の増加、子育て世代が住みやすい村づくりを進め、住み続けたい村にすることが必要不可欠である。また、雇用創出の場と税収増を期待できる企業誘致を推進している。時代の変化に対応した事業を展開し、第6次総合計画を実現させていきたい。





林 幸司 議員

実習生など外国人との多文化共生社会を

村長 「排外主義は人権を否定し国際人権規約に違反」

問

日本人ファーストなど外国人敵視が横行し、全国知事会が排外主義を否定し多文化共生社会を目指す宣言を決議。外国人敵視は許されません。

答 村長

政治的主張やネット上に外国人への不安や敵意をおおる排外主義が目立つが、人権を否定する危険な動きで国際人権規約に違反している。

実習生に日本語教室を開催したり、地域で祭りや道路愛護等に参加してもらうなど官民それぞれの立場で多文化共生社会の推進につながるのではと考えています。

養蚕集落を「重伝建」や「ぐんま絹遺産」に

村長 文化遺産を守る観点からも重要

問

国「重要伝統的建造物群保存地区」選定を目指す決意は。まずは村指定を。「ぐんま絹遺産」早期登録を求めます。

答 村長

村の文化遺産を守る観点からも重要。所有者の同意が必要であり、専門家による調査を行い適切



全国に誇れる養蚕集落景観を村づくりに活かす重伝建選定を目指すキックオフフォーラム

子ども達の国保「均等割」免除を

村長 滞納者の窓口10割負担にご理解を

問

窓口10割負担を22世帯に増やしたが大問題であり早急な改善を。

子ども達の国保「均等割」免除を求めます。

沼田病院の存続と、診療報酬・介護報酬の引き上げに尽力を求めます。

答 村長

国保滞納世帯への短期保険証が廃止され、公平な税負担へ窓口10割負担にご理解をお願いします。

18歳未満を免除した場合、子どものいない世帯の負担が増えるので免除はしません。

沼田病院存続も視野に慎重に協議していきたい。診療・介護報酬の引き上げは不可欠であると認識しています。

堤
宏康
議員



吉本興業ホールディングス(株)との 包括連携協定が解除に

村長 教育への影響。道徳とルールが一番重要ではないか。吉本から協定の解除の申し出があり、本村としても承認した

問

7月に吉本興業ホールディングス(吉本と表記)との包括連携協定(協定と表記)が解除に至った経緯は。

答
村長

今年1月に所属する芸人が「オンラインカジノ賭博」をしていたことが報道された。所属する芸人が違法行為を行ったので、顧問弁護士と相談し、本村への謝罪が必要であると考えた。吉本に伝えたところ、「直接会い、経緯の説明をしたい」との申し出があった。7月25日に関係者らが来村し、説明を受けたが、その時に吉本から協定の解除の申し出があり、本村としても承認した。

問

「緊密な相互連携等により、住民サービスの向上と地域活性化を図る」といったねらいは、達成されたのか。「住民主体の村政」に反するのではないか。

答
村長

協定の内容は全部見た。大きな問題は、あくまでも犯罪なので。会社のコンプライアンスも含めて重要なところ。一番危惧するのは、子どもたちの教育への影響で、非常に心配している。

問

「事前に議会に相談なく協定を解除したこと」は、議会軽視したことは、

答
村長

議会と執行部は両輪で

ではないのか。村長と我々議会は、立場は違いますが、主役は村民ということとは同じである。村づくりににおいて、村長と議会は対等の関係であるという認識で私は取り組んでいる。村長は、議会との関係性をどのようにお考えか。

学校建設進捗状況の令和11年度目標100%とは

教育長 成果目標であり、難しい状況にある

問

協議会の原点とする「昭和村小学校の統合に向けた検討委員会答申」でいう「義務教育学校という新しい学校制度と昭和村の学校教育の現実の接点」とは。

答
教育長

に、共生していく力、創造する力。また、本村の子どもたちは、表現力は控え目であり、英語にも影響している。継続した方針をもって義務教育学校推進と考えている。

答
教育長

教育課程9年間を取りまとめ、自立した学習者を育て上げていく。同様

問

未来プラン2034の学校建設進捗状況の令和11年度目標100%に向けてのスケジュールは。

難しい状況にある。ソフト面の基本構想を取りまとめ、11月頃からハード面施設設備の在り方・候補地の検討等)の協議を始めたい。重要案件については協議会の総意をもとに、地域説明会を実施し、合意形成を図り、着実さを持って進めたい。

問

令和4年11月21日に、役場に隣接したスーパーが閉店。

12月、買物弱者、買物難民等、村民のための早急な誘致をとの一般質問がされ、さらに村に対し、進捗状況報告を令和5年9月に求めました。

答

スーパーなどの誘致は喫緊の課題、村民が安心して暮らせる村づくりを進めます。

進捗状況報告では、希望事業者と早期営業開始に向け調査を実施していますとの回答でした。

その後

村は令和5年度に、買い物弱者対策として、閉店した店舗等を買収しました。その後、村で店舗内の改修工事を施工し、新規のスーパー経営者を募りました。

結果、株式会社サンモールを新規の参入者と定め、令和6年7月11日にサンモール昭和店が新装オープン。

土地建物賃貸借契約を令和11年までの5年間とし、毎月の賃料として、売り上げ総額の1%を村に支払います。

現在の経営体は、株式会社ジェーソンですがサンモールの経営内容を継続し村民に親しまれるスーパーを目指しています。



利用者のひと言

身近で買い物ができるようになり、大変便利です。
いつも誰にでも喜ばれるスーパーであって欲しいです。

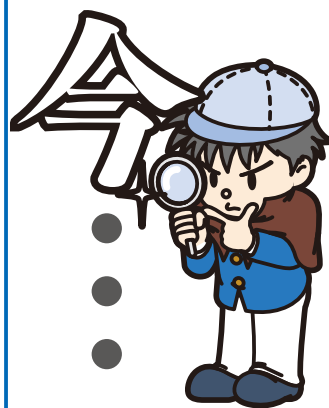
(新木香織さん：吹張)

追跡
シリーズ

43

スーパー誘致事業

あの
問題は



議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの意見要望等は、どのように処理されているのか。請願・陳情を含めて、その後の経過を追跡しました。

地域でがんばる



京都からUターン移住

京都からUターン移住し、未経験ながら農作物の栽培から加工・販売まで挑戦し、自分たちのスタイルを確立している吉川さん夫妻。

美術館の学芸員をしていた和孝さんと着物の製造会社で働いていた博子さん。11年前に博子さんの父親が他界され、一人暮らしとなった母親を手伝うために帰郷。和孝さんと結婚し、農業をス



しょうむらマルシェ「旬の加工品を生産販売」

タート。和孝さんは自然が豊かで、安心して暮らせる昭和村が気に入る9年前に移住。今では神輿を担ぐなど、すっかり地域に馴染んでいます。

屋号の「あすなろ工房」は、井上靖の「あすなろ物語」から命名。昔のコンニャク場を改修し、加工場は4か所。自家の田畑で育てた野菜や米、ハーブや柚子など自然素材を原料に、手間と時間をおします、米麴や味噌、漬物やオリジナルの和調味料などを加工。添加物不使用をコンセプトに、安全で安心な食品を四季折々、届けています。

家族3人で分業し、味噌や漬物類を扱うのは母親の菊子さん。和孝さんは畑仕事や納品のほか、味噌や米麴の製造も手掛けます。博子さんはシロップなどの加工やラベル製作も行うことで、人を雇わずに完結でき、値段も抑えられるのも強みです。



あすなろ工房

吉川 和孝さん・博子さん（田岸）

商品数は、野菜類を含め約150品目。マルシェの販売には、約50種類で展開。試食でお客さんからのアイデアもあり、対面販売は面白いし、本村の観光やイベントPRも積極的。東京青山や筑波、千葉など県外のマルシェへ旅行気分です。二人して出かけ、旬の味覚を届けられ、やりがいがあり、楽しいと笑顔。

和孝さんは、「地元とのウェイトを増やし、定番商品を固めていきたい」。博子さんは、「新商品を開発し、今後も対面販売で生活ができ、家族みんなが健康で、マイペースで続けたい」と話していました。

編集室から

9月に入り、2日に大雨・強風。翌週10日には記録的な豪雨。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。今議会最終日に村長より、「本年度、自主防災組織が新たに8地区で設立された。」との報告があった。村民の防災意識の高まりの成果であり、各行政区の一体感の象徴と受け止めた。

秋には消防団の秋季点検もある。平素の予防消防活動に加えてのポンプ操法訓練。団員皆様の献身的な取り組みには頭が下がる。

赤城山の朝日を望み、子持山の夕日を眺める安寧の昭和。豊潤の大地の昭和。後世に如何に引き継ぐか。そして、議会の果たすべき役割は…。

堤 宏康 記

議会広報編集特別委員会

委員長 林 栄一

副委員長 藤井 貞充

委員

阿部

堤

永井

孝司

宏康

一行

佐藤

好美

沢浦

典子

議会だより
既刊号